

## 千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.81

【発行】千葉県テレビ伝道協力会  
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2  
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」  
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072  
E-mail: [chiba@life-line.tv](mailto:chiba@life-line.tv)  
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>  
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台  
2-1 OCCビル  
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650  
E-mail: [mail@pba-net.com](mailto:mail@pba-net.com)  
ホームページ <http://www.pba-net.com>  
でんわ世の光 03-3291-9061

### 「伝道の原点を求めて」

望みの門後援会会長・日本キリスト教団松戸教会牧師 石井 錦一

敗戦後に一冊の新約聖書を手にしたときの感動を忘れない。教会の礼拝、伝道集会、太鼓をたたいて路傍伝道もした。やがてチラシやビラを配り、一軒、一軒、家々のポストに入れることもした。このような伝道方法がだんだんできなくなってきた。

ラジオ放送による伝道は今も続いているが、視聴覚による伝道がさまざまな形でなされるようになり『ライフ・ライン』の伝道もそのひとつとして生まれた。現在、インターネットやそのほかの新しい方法で、家にも礼拝や集会に同時に参加できたりもする。このような礼拝参加には反論もあるだろうが、病者、高齢者のために大切な伝道の手段として考えていかなければならないと思っている。教会のホームページも大事な伝道の役を担っている。私が責任をもつ教会では、アクセス数が5万近くになっていると報告されている。残念ながら古い人間である私は、ホームページを自分で見ることはできないが、伝道部の責任者たちの奉仕によって毎週の週報、また教会月報などがいつも見られるようになっている。

その点、ライフ・ラインのテレビ放送も放映時に見ることができなくても、録画して見ることができる。もちろん、見ること、録画することに誰かの手助けを必要とする人々がいることも承知している。

戦前の伝道については直接には知らないが、敗戦後の伝道の移り変わりは私自身が体験してきたところである。世の中の通信手段等が進むにつれてさらに伝道方法も変わっていくことだろう。しかし、どんなによい形での伝道方法ができて、教会の伝道の原点を忘れてはいけないと思っている。第一は毎日曜日、自分の足で教会へ出かけて、礼拝の場にひざまずいて祈り、賛美をして、み言を聞き礼拝をささげることである。第二は自分の眼でページを開き聖書、その他のキリスト教信仰書を読むことである。教会はこのことを信仰生活の原点としてその訓練を常に勧め続けなければならない。身体的に困難な方々のために、様々な伝道の手段が生まれたのであるから、ライフ・ラインの視聴者がこの信仰生活の原点をおぼえつつ、放送を利用することを願っている。機械的な音声や映像でなく、手でさわって、耳で聞いて心に感じるところに神さまの恵みを信じて歩む。絶えず立ち帰る原点を確かにもったところから、あらゆる新しい伝道が生まれてくることを期待している。

お茶の間に福音！

毎週土曜朝7時は、**千葉テレビ「ライフ・ライン」**でお楽しみ下さい。